

レジ袋からマイバッグへ

～レジ袋削減に関する協定調印式～

7月1日(火)、市民会館で『レジ袋削減に関する協定調印式』が行われました。

レジ袋の削減は、ごみの発生の抑制や、資源の有効利用、二酸化炭素の排出量の削減につながることから、環境負荷軽減のために有効な手段です。

そのため、登別・室蘭・伊達の三市は、地球にやさしいエコライフを確立するため、レジ袋削減の趣旨に理解していただいた3市内の9社31店舗と、マイバッグ運動を進めている3市の消費者協会との間に協定を締結しました。

この協定の締結により、次の事業者ではレジ袋の無料配布が中止になりますので、マイバックなどをご持参ください。皆様のご理解とご協力をお願いします。

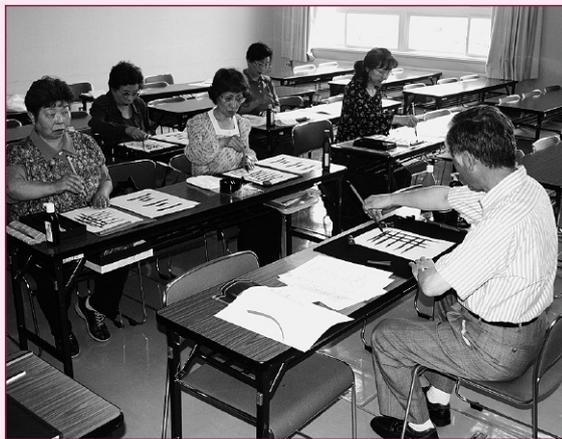
▶事業者名（無料配布中止日）

（株）志賀総合食料品店（6月2日～）、（株）ラルズ（7月4日～）、イオン北海道（株）・マックスバリュ北海道（株）・生活協同組合コープ札幌（7月5日～）、（株）ウロコ・伊達市農業協同組合（8月1日～）、（株）アルファマート（10月1日～）、（株）グルメシティ北海道（平成21年3月31日までに）



筆で字を書く楽しさを感じて

～書道教室～



7月3日(木)、市民会館で『書道教室』（文化・スポーツ振興財団主催）が行われ、5人が参加しました。

この教室は、書道を楽しみながら上達してもらおうと、登別書道連盟会長の成田成峰さんを講師に迎え、書道の基本を3回に分けて学ぶものです。

1回目この日は、文字を美しく書くための正しい姿勢や筆の持ち方、書体・書風の種類、書道の用具などについて学び、「体でリズムをとって書くことが大切」などのアドバイスを受けていました。

参加者は、「字を書く時の筆の入り方から書き終わりの筆の出方、書いている時の筆の立て方など親切丁寧に教えていただき、大変分かりやすかったです」と話してくれました。

色とりどりの花がお出迎え

～登別市民憲章推進協議会 JR幌別駅西口駅前花壇植栽～

6月26日(木)、登別市民憲章推進協議会による、JR幌別駅西口駅前花壇の植栽が行われました。

この取り組みは、『花いっぱい運動』の一環として平成15年から行われており、この日は会員約90人が参加し、同協議会花部会のフラワーマスターなどが育てた、マリーゴールドやサルビア、ペゴニア、アゲラタム、レンゲ、シロタエキクの6種類3,000株を丁寧に植栽。色とりどりの花が乗降客などの皆さんをお出迎えしています。

また、6月20日(金)、若草中央公園の花壇にも7種類1,400株の植栽が行われました。

同協議会は、これらの活動などが認められ、平成18年には『住民運動実践功労者支庁表彰』、平成19年には『北海道社会貢献賞』を受賞しています。

